

算数科 学習指導案

松原市立松原北小学校

1. 日 時 令和7年12月2日(火)第5時限 13:40~14:25

2. 場 所 第3学年 教室

3. 学年・組 第3学年

4. 単元名 三角形と角 (使用図書・教科書:学校図書)

5. 単元の目標

- ・二等辺三角形、正三角形などについて知り、作図などを通してそれらの関係に次第に着目することができる。
- ・基本的な図形と関連して角について知ることができます。
- ・図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、図形の性質を見いだし、身の回りのものの形を図形として捉えることができる。

6. 単元で取り上げる言語活動

三角形の性質やかき方について調べる。

いろいろな形の三角形を様々な観点で分類する際に考えを交流する。

身の回りのものの形を図形として捉え、角についても作業などを通して理解したその性質について交流する。

7. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の辺の長さの違いに着目して三角形を構成したり、コンパスで作図したりする。 ・二等辺三角形、正三角形の定義や特徴、図形としての角の意味を理解することができる。 ・図形についての豊かな感覚をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形について分類し、分類した観点や分類した図形ごとの特徴を見いだしたり、三角形の構成要素に着目し、三角形の特徴を帰納的に見いだしたりする力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形に关心をもつとともに、身の回りのものの形を図形として捉える過程を振り返り、三角形で敷き詰める活動によってできる模様の美しさや平面の広がりに気づき、今後の学習や生活に活用しようとする態度を養う。

8. 指導にあたって

本単元では、三角形を様々な観点で分類し、三角形の辺の長さに着目して、2辺が等しい三角形を二等辺三角形、3辺とも等しい三角形を正三角形というように、それぞれの概念形成を行う。本時では、どのように分類したのか、またその理由をペアで伝え合い、確かめ合う言語活動を設定している。この言語活動を通して、自分の考えや意見を算数の言葉を使いながら、正しく、丁寧に伝えられる子どもを育てていきたい。

9. 指導と評価の計画(全 12 時間) ◎…記録に残す評価 ○…指導に生かす評価

次	時	主な学習内容	知 技	思 考表	主 体	評価規準・評価方法
1	1	・長さの異なる3種類の色ストローで様々な三角形を作る。 ・作った三角形を比べ、落ちや重なりを調べ、似ている形を探し分類する。			○	いろいろな三角形を作ろうとしている。【主】(行動観察)
2	本時	・互いの分類のしかたを確かめ合い、2辺が同じ三角形、3辺が同じ三角形の特徴を考え、話し合う。 ・「二等辺三角形」と「正三角形」の定義を知る。	◎	○		三角形の形や辺の長さに着目して分類することができる。【知】(ホワイトボード) 三角形について分類し、分類した観点や分類した図形ごとの特徴を見いだしている。【思】(行動観察)
3		・長さの異なる4種類の色ストローで様々な三角形を作る。 ・作った三角形の中から、二等辺三角形や正三角形を選ぶ。 ・学校図書を活用し、身の回りから二等辺三角形や正三角形を見つける。	○			二等辺三角形や正三角形の定義を理解している。【知】(行動観察)
2	4	・与えられた長さを用いて、二等辺三角形をかく方法や適切な三角形の作図方法を考える。 ・3辺の長さに着目しながら、二等辺三角形が作れない場合の理由を説明する。	◎			コンパスを使って二等辺三角形をかくことができる。【知】(ノート)
	5	・二等辺三角形のかき方をもとに、正三角形のかき方を考え、かき方をノートにまとめる。	◎			コンパスを使って正三角形をかくことができる。【知】(ノート)
	6	・円の半径を使った二等辺三角形や正三角形のかき方を考え、話し合い、説明する。 ・円を使って、二等辺三角形や正三角形をかく。		○		円の中にかいた三角形が二等辺三角形であることを、性質を根拠に説明している。【思】(ノート)
	7	・折り紙を折ったり、切ったりして二等辺三角形や正三角形を作るとともに、その特徴を考える。		○		折り紙で二等辺三角形や正三角形を作る作り方を、定義をもとに考えている。【思】(行動観察)
3	8	・角の定義と、「角」、「頂点」、「辺」、「角の大き	◎			角の定義と「角」、「頂点」、

	さ」の用語を知る。 ・それぞれの三角定規の角の大きさについて知る。			「辺」、「角の大きさ」の用語を理解している。【知】(ノート)
9	・二等辺三角形、正三角形の角の大きさの関係を調べ、性質を角の大きさの関係からまとめる。 ・直角二等辺三角形の性質を説明する。	◎		二等辺三角形や正三角形について。角の性質を理解している。【知】(ワークシート)
10	・同じ大きさの二等辺三角形や正三角形を敷き詰めて、その特徴を生かしたいろいろな形を作り、発表し合う。 ・三角定規を2枚使って、既習の三角形、四角形の形を作る。		○	二等辺三角形や正三角形を敷き詰めて、いろいろな形を作ろうとしている。【主】(行動観察)
11	・二等辺三角形の底辺を徐々に伸ばしたときの形の変化について調べる。	○		正三角形は二等辺三角形と見ることができることを理解している。【知】(ワークシート)
12	できるようになったこと・まなびをいかそう			

10. 本時の展開(2/12時間目)

(1) 本時の目標

- ・辺の長さに着目し、三角形を分類する方法を考える。
- ・二等辺三角形の定義がわかる。
- ・正三角形の定義がわかる。

(2) 本時の評価規準

【知識・技能】三角形の形や辺の長さに着目して分類することができる。

【思考・判断・表現】三角形について分類し、分類した観点や分類した図形ごとの特徴を見いだしている。

(3) 展開

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
5分	○前時までのふりかえり ○三角形、頂点、辺などの既習用語を確認する。		
		辺の長さのとくちようをみつけて、なかまわけしよう。	
20分	○図形の特徴を考えながら、ホワイトボードに分ける。	・カードを準備し、仲間分けしやすいようにする。	【知・技】三角形の形や辺の長さに着目して分類することができる。(ホワイトボード)
	○分けた結果とその理由を交流する。	・三角形、頂点、辺などの言葉を使って意見を交流できるように促す。	【思・判・表】三角形について分類し、分類した観点や分類した図形ごとの特徴を見いだしている。(行動観察)
10分	○長さが等しい辺の数でなかま分けできることを確認する。 二等辺三角形、正三角形の定義を知る。 ○ワークシートに学習したことを書く。	・辺の長さの違いに着目させ、分類できているか全体で確認させる。	
10分	○まとめ ふりかえりを書く。 ○全体で交流する。		

(4) 本時における具体的な子どもの状況(※本時の評価規準に関わる場面において)

おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)への支援
・辺の長さに着目し、三角形を分類することができる。 ・二等辺三角形の定義がわかる。 ・正三角形の定義がわかる。	・前時で構成した三角形の一覧表を渡し、考える手立てとする。